

「進行胃癌に対する低侵襲手術の治療成績の検討に関する後ろ向き観察研究」

ご協力をお願い

近年、胃癌に対する低侵襲手術が急速に普及しており、cStage I の胃癌患者様に対する腹腔鏡下幽門側胃切除、噴門側胃切除、胃全摘術は本邦のガイドラインにおいて標準治療の一つとして推奨されております。一方で、進行胃癌に対するロボット手術を含めた低侵襲手術の治療成績につきましては、まだまだエビデンスが少ないのが現状でございます。進行胃癌に対する低侵襲手術の治療成績を評価・解析することで、低侵襲手術の安全性や臨床的意義を明らかにして、治療成績の向上に寄与することができると考えています。

2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科 小松 周平(責任研究医師)  
京都第一赤十字病院消化器外科 小西 智規(分担研究医師)

3. 研究の方法

当科患者データベース 2014 年 1 月から 2023 年 5 月に登録された方を対象として、手術を施行した胃癌手術症例の背景因子及び治療成績に関して検討を行います。抽出するデータは、以下の通りです。

① 関連情報:術後退院日数、合併症、画像所見、各種血液検査データ、病理診断結果、生存や再発に関する予後情報など  
データベースから(2014 年 1 月から 2023 年 5 月)

② 患者基本情報:性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。同意いただけない場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地  
京都第一赤十字病院 消化器外科  
電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308  
責任研究医師氏名 小松周平(shuheikomatsu@kyoto1.jrc.or.jp)